

竹内正先生（刑法各論 滝川春雄教授と共著あり）は、頭にすげ笠をかぶり野良着を着て、鼻にはたばこ2本入山、島根県民謡安来節（ドジョウすくい）の踊りを披露されました。絶妙で天下一品であり、我々学生を大いに賑わさせていただきました。

不思議なのは、誰れからも女性の思い出は出なかったのです。当時誰れ一人として女性とは縁がなかったのでしょうか。「法律学一辺倒、恋人は六法」これでは女にもてる訳ないヨ。…いやマージャンはよくやったが、いづれにしても不器用な男ばかりでした。

このように思い出話など話は尽きず、静まりかえったのは丑三つ時でした。

素晴しき仲間達との再会は、同大ラグビー日本一を祝して!!



## 卒業その後

芦沢 節子（大阪府島本町在住 金山ゼミ）

21年前、主人（同志社大学法学部の同級生）が京都の裁判所から鹿児島を知覧簡裁に転勤になりました。1月17日に阪神大震災があり、高速道路の橋脚が倒れるなど大被害が出ましたが、3月末には復旧して、車で任地に赴任しました。

新任地の官舎の近くにつけ流しの温泉があり、毎日、夕食後に二人で通い、そこで地元の人とも仲良しになり色々な情報を頂きました。観光地や温泉巡り、おいしい知覧茶・焼酎の味を覚え、良き友を得た楽しい3年間でした。

その後、大阪に帰って3年、さらに佐賀の伊万里簡裁に転勤。伊万里、有間・唐津などの焼き物の里があり、そして嬉野・武雄温泉もありで焼き物、温泉三昧の3年間でした。

今は、自然に恵まれた大阪と京都の府境に終の棲家をみつけて、バードウォッチングのお供をしたり、のんびりとした毎日を送っております。

浜崎 克史（岡山県倉敷市在住 秋山ゼミ）

3月16日、同志社大学昭和41年卒で法学研究会（法研）に所属していた者が卒業50周年を記念して、京都五条大橋近くの老舗旅館で同窓会を開催しました。我々は数年毎に同窓会を開いたり、大学ラグ